

お経にはそれがお経であることの必須条件があります。
「六事成就」といいます。
聞（もん）成就＝「私（弟子）はお聞きしました」
信（しん）成就＝「このように」
時（じ）成就＝「あるとき」
主（しゅ）成就＝「お釈迦様が」
処（しょ）成就＝「どこで」
衆（しゅう）成就＝「誰に向かって」
あれあれ、これはほぼ「5W1H」じゃありませんか！つまりお経は弟子が記者になってお釈迦様のご説法を記事にした「仏教広報記事」なのです。2500年前のインドに既に優れた「広報」があったことになりますね。



第1G、.2月の例会変更



行橋RC：2月9日(火)→休会(緊急事態宣言対応)
2月16日(火)→休会(緊急事態宣言対応)
2月23日(火)→休会(祝日のため)
田川IRC：2月10日(水)→休会(緊急事態宣言対応)
2月17日(水)→休会(緊急事態宣言対応)
2月24日(水)→休会(緊急事態宣言対応)
3月3日(水)→休会(緊急事態宣言対応)
苅田RC：2月12(金)→休会(緊急事態宣言対応)
2月19(金)→休会(緊急事態宣言対応)
2月26(金)→休会(緊急事態宣言対応)
3月 5(金)→休会(緊急事態宣言対応)
豊前西RC：2月5日(金)→休会(緊急事態宣言対応)
2月12日(金)→休会(緊急事態宣言対応)
2月19日(金)→休会(緊急事態宣言対応)
2月26日(金)→12時～12時半(短縮例会)
弁当持ち帰り

お知らせ

木村Rの事業所の住所が変更になりました。
〒824-0005
福岡県行橋市中央2-8-25

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

ニコニコBOX

内田克彦R：コロナの馬鹿野郎！
山口剛志R：明けましておめでとうございます。
秋山高広R：良い人誕生日のお祝い、ありがとうございました。
秋吉憲治R：新年あけましておめでとうございます。誕生祝い、ありがとうございました。
有門功太郎R：黒水R、卓話有難うございました。
竹林R、お弁当ありがとうございました。
大久保正信R：「冬来たりなば春遠からじ」寒さの中、春を待ちましょう。
岡崎慎一R：通常例会が早く行える事を願います。
木村謙一R：この度は、診療所新築に際しお祝いを頂戴し誠に有難うございました。
まだまだ新型コロナウイルス感染の収束には時間がかかりそうで、その対応のために通常例会に出席できずにおりますことをご了承ください。今後も地域医療に微力ながら貢献しロータリアンとして恥ずかしくないよう精進いたしますのでよろしくお願い致します。
進 晶和R：良い人誕生日のお祝い、ありがとうございます。
竹林博幸R：お弁当の注文、ありがとうございました。
竹本一美R：コロナに負けない様、皆さん！がんばりましょう。
田中聰樹R：コロナ、コロナといつまで続くのかな？今年も負けずに頑張りましょう。
長尾浩央R：RCが提唱しないRACが発会したと月信見開きにアピールされています。大変おめでとうございます。私がローターアクターなら心底ご免蒙りますが！
藤嶽裕司R：黒水R、お疲れ様でした。
米原 宏R：本年もよろしくお願い致します。

ニコニコBOX

1月13日の合計24,000円
累計 548,000円

近隣R・Cへのメイクアップのご案内

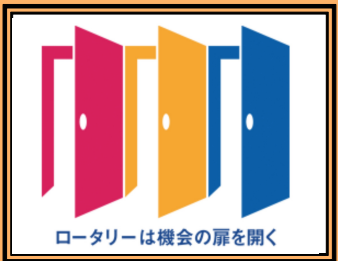
月曜日…小倉中央R.C「リーガロイヤルホテル小倉」
火曜日…行橋R.C「みやこホテル」
火曜日…小倉南R.C「リーガロイヤルホテル小倉」
水曜日…田川R.C「ザ・ブリティッシュヒルズ」
水曜日…小倉東R.C「ステーションホテル小倉」
木曜日…豊前R.C「ニューいずみ」
金曜日…苅田R.C「パンジープラザ」
金曜日…小倉R.C「リーガロイヤルホテル小倉」
金曜日…豊前西R.C「築上町リサイクルプラザ」
土曜日…福岡城東R.C「ホテル日航福岡」

第1800回

Week

Report

令和3年2月3日 No.22



国際ロータリー第2700地区行橋みやこロータリークラブ

「新しいロータリーは機会の扉を開く」
2020-2021年度 第2700地区
ガバナー 古賀 英次

「みんなでロータリーを楽しもう！」
2020-2021年度 行橋みやこロータリークラブ
会長 内田 克彦

本日のプログラム

- ◆ 開 会「点鐘」
- ◆ 国歌斉唱・ロータリーソング「2700のマーチ」
- ◆ お客様・ビジターご紹介
- ◆ 会長の時間
- ◆ 幹事報告・委員会報告
- ◆ 広報・IT委員会
- ◆ 閉 会「点鐘」

2月は平和模索と戦争予防月間

【広報・IT二十二豊委員長活動方針】
当委員会は、マスメディアやインターネットを媒体として、ロータリークラブの活動内容や存在意義を広く一般社会の人々に発信し、理解や共感を深めていただくことを活動方針としたい。これは同時に他クラブや地区への発信となる。また、クラブ内部に向けては、IT利用率の向上を促してゆきたい。

例 会 予 定

- ◆ 2月10日(水) ICS委員会
- ◆ 2月17日(水) 会員増強委員会
- ◆ 2月24日(水) 職業奉仕委員会
- ◆ 3月 3日(水) 会報雑誌委員会
- ◆ 3月10日(水) 青少年育成委員会
- ◆ 3月17日(水) 姉妹クラブ委員会
- ◆ 3月24日(水) プログラム委員会

出 席 報 告

会員数:57名 メークアップ: 名
欠席者: 名 出席率 %

お客様:

2月のお誕生日

有門功太郎R(4日)・竹林博幸R(5日)
松山貞徳R(19日)・増田淳治R(20日)

山口友美様(13日)・渡辺瑞恵様(17日)

【会長の時間】 第25回



皆様、こんにちは。
コロナ第3波の全国的な流行による緊急事態宣言により、例会が開催できないままですが、皆様方、お元気でしょうか？

先週、1月27日は職業奉仕賞を行橋消防署救急隊に授与するために、会長の私、副会長の竹本さん、幹事の山口さん、職業奉仕担当理事の工藤さん、職業奉仕委員会委員長の秋山さん、広報・IT委員会委員長の二十二委員長、そして事務の中村さんの総勢7名で消防署に参りました。詳細は二十二さんが、わがクラブのホームページとFBサイトにアップしてくださっていますので、是非ご覧ください。毎日新聞、行橋市市報にも取り上げていただき、なかなかタイムリーな企画だったと自負しております。さて、2月3日は、本来なら広報・IT委員会の外部卓話の予定でした。休会中も週報だけは発行するという会長方針でしたので、

今回は、先日、リモートで参加したRLIについて、ちょっと触れてみようかと思えます。RLIとは、Rotary Leadership Institute、すなわち、ロータリーリーダーシップ研究会の略で、1992年、アメリカ、ニュージャージー州で元RI理事のデビッド・リンネット氏の発案で始められた研究組織のことです。ロータリアンの知識を啓発し、将来のロータリークラブの指導者を養成するための多地区合同プログラムで、現在、世界の80%近い地区が参加しているそうです。日本で最初のRLIセミナーは2008年11月1日、2830地区より始まったとのことです。具体的には、DLすなわち、Discussion Leader から与えられたテーマに関して参加者同士で議論を交わすことで、ロータリーに関して色々な角度から考える機会を得て、参加者個人個人が新たな気づきを得る場であり、そこには色々なクラブが持つ多様性を認め、自クラブの状況を客観的に見ることのできるクラブのさらなる可能性を見出していただき、最終的にはクラブの将来のリーダーを育てる目的があります。また新会員にも他クラブの方々と意見交換することで、広い視野を持った会員に育てることが出来、ひいては、このような刺激が入会歴の浅い会員の退会防

●創 立…1984年4月3日
●例会日…水曜日(12:30～13:30)
●例会場…京都ホテル Tel 0930-23-1800 行橋市宮市町9-18
●事務局…〒824-0005 行橋市中央1丁目9-50(行橋商工会議所 別館1階)
TEL0930-25-0655 FAX0930-25-5700 E-mail:y-miyako@eagle.ocn.ne.jp

●会 長……………内田克彦
●副会長……………竹本一美
●幹 事……………山口剛志
●会報雑誌委員長…山本道治
●URL: <https://ym-rotary.club/>

止に効果があると考えられています。私はと言えば、zoomを使ったリモートはわが人生初めての経験でありました。恐る恐る与えられたパスワードを入れると、意外にあっさりと会議に参加することが出来ました。パソコンのディスプレイには各参加者の顔が写し出され、リアルタイムでロータリーに関するいろんなテーマに関して、DLからの巧みなリードで、他のクラブの参加者と意見を交わすのは、なかなか新鮮で楽しい時間でした。もう20年間、職場の壁に4つのテストを掲示していると言うと、びっくりされたり、(うちのクラブでは当たり前のことだと認識しています)、年末に内川選手を招いて少年野球教室を開催すると言うと羨ましがられたり、RLIの最後にはすっかり顔見知りになった出席者と地区大会でお会いしましょうと口々に言って終了しました。他のクラブの方々と自宅に居ながらにして、親しく交流できるのは大変貴重な体験でした。以上の経験から、主催者側は会場の設営費用が掛からない、演者の交通費がかからない、参加者側はわざわざ出かけていく手間がかからない、昼休みにはビールもこっそり飲めるといういわばウィンウィンのzoomリモートという手段は、アフターコロナの時代になっても、必ず残っていく手段だと確信しました。コロナの時代となって、殆ど講演ができなくなり、半ば失業状態にあった私の家内も、最初は聴衆の反応がわからないとか言ってリモートを毛嫌いしておりましたが、IT音痴の私の成功体験を見て、自宅に居ながらにして講演ができるリモート講演を始めました。私はコロナ禍の中にあっても、ロータリーは不滅だと確信しています。そうです、一人一人がロータリアンとして出来ることを粛々とやっていくだけで良いのです。まずは、週報を途切れることなくように発行できるように、関係の会員の皆様の投稿を切にお願いして、筆を置きます。

職業奉仕賞

2021年1月27日(水)

職業奉仕委員会



委員長 秋山高広R

国際ロータリーは1月を「職業奉仕月間」と定めています。当クラブ「職業奉仕委員会」では毎年1月、職業を通じて地域社会に多大な貢献をされている方々を表彰する活動を続けています。本年は、コロナ禍の厳しい状況の中、昼夜を問わず市民のいのちを守り続ける行橋市消防本部の救急隊の皆さんに「優良職業奉仕賞」を贈呈することが決定いたしました。2021年1月27日、行橋市消防署において表彰式が執り行われました。「第一小隊第一救急分隊」の出口綾人分隊長、「第一小隊第二救急

分隊」の花岡洋平分隊長に、当クラブ内田克彦会長から表彰状が手渡されました。また、副賞として感染防止資機材一式の目録を高橋一文消防長に贈呈させていただきました。

内田会長は「毎日10件近くの出動は目の回る忙しさかと思われます。新型コロナウイルスの感染者が急増する中、感染リスクを背負いながら対応に当たる隊員の皆様方の心身にわたる御苦勞は如何ばかりかと推察いたします。」と挨拶をされました。

行橋消防本部(署) 第1小隊救急第1分隊 分隊長 出口綾人 様

行橋消防署、第1小隊救急第1分隊、の出口です。本日は名誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。救急隊を代表してお礼申し上げます。このような賞を頂けたのは全救急隊員の日々の努力はもちろん、他の職員のサポート、なにより市民の皆様のご理解があったの事と思っております。今後も更に精進を重ね、市民の皆様にも万が一の事があった際にはその知識技術と情熱をもって還元できるよう励んでまいります。さて、近年毎年のように全国各地で豪雨等による災害が発生しております。大災害発生時に全国の消防組織から災害地に派遣される緊急消防援助隊というものがあります。当消防本部も平成23年の東日本大災害、平成28年の熊本地震、令和2年7月豪雨の際には被災地で活動を行いました。そこに目にしたのは日常からはとても想像できない悲惨な光景ばかりでした。「自助・共助・公助」という言葉を耳にした事があると思います。災害発生時直後の状況下で、要求助者者が多数いる場合、「公助」だけでは救助・援助する側人では到底足りません。この時、必要不可欠となるのは自ら守る「自助」と近隣で助け合う「共助」です。ロータリーの使命は「職業人と地域社会のリーダーネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を維持すること」であると拝見しました。この地域で災害が発生した際には行橋みやこロータリークラブの皆様が地域社会のリーダーとして「共助」の中心的役割を担って頂けると「公助」の役割を担う私たち消防職員にとってこれほど心強いことはありません。是非、手を取り合って地域で社会に貢献できたと思います。

はなはだ簡単ではありますがお礼の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



第1800回	Week	Report	令和3年2月3日 No.22
行橋消防本部(署)	第1小隊救急第1分隊	分隊長 花岡洋平 様	【本日のプログラム】 2月3日 広報・IT委員会 委員長 二十二 豊R
			
<p>この度、このような賞を頂き、誠にありがとうございます。昨年、初めより、新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し日本でも社会情勢を揺るがす状況が現在もまだ続いております。その中で医療のいったんを担う救急業務において消防本部職員一丸となって感染症拡大の防止、また新型コロナウイルス感染症に罹患された傷病者、疑いのある傷病者への対応を行っております。新型コロナウイルス感染症流行前からスタンダードプリコーションの徹底は行っておりましたが、コロナ禍において更に強化して現在の救急活動に従事しています。感染防護衣(上下衣)の着装、N-95マスク、手袋、ゴーグルの装着、傷病者を搬送し帰署してから全てにおいて、救急車内のオゾン殺菌、新型コロナウイルス感染症確定傷病者の搬送の際には、しっかりと関係者に説明と同意を頂き不安を取り除いた上で、アイソレーター(陰圧式患者搬送用器具)にて、搬送を行っています。まだまだ終息の兆しが見えない状況ですが、市民の方の安全・安心を提供できるよう努力していきたいと考えております。</p>			
			
			
			